

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

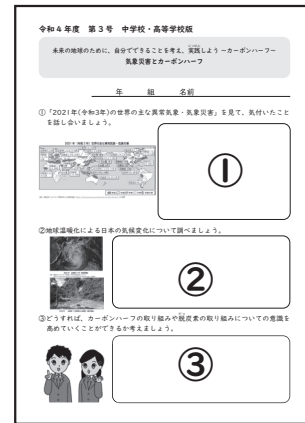
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう～カーボンハーフ～ 気象災害とカーボンハーフ

①表題





②ねらい

- ・地球温暖化による気象災害について知り、その原因や環境への影響について理解する。
- ・世界に広がる異常気象の種類、日本における地球温暖化と台風の関係を知る。
- ・東京都の温室効果ガス削減の取組「カーボンハーフ」について、実践しようとする態度を育成する。

③本教材で扱う 主な内容

世界の主な自然災害、地球温暖化による日本の気候の変化、カーボンハーフ

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 掲示用教材①を見て、気候変動による災害の数が増えていることを知る。 ○ 掲示用教材①を見て、気付いたことを話し合う。	○ 世界規模で災害の数が増えていること、人間の影響によるものであることを説明する。	◆ 掲示用教材① ◆ ワークシート①
○ 掲示用教材②を見て、日本の地球温暖化による気候変化について調べる。	○ リンク等を参考にして調べさせる。	◆ 掲示用教材② ◆ ワークシート② ■ 地球温暖化による気候の変化について調べてみよう。 【気象庁 地球温暖化】 
○ 掲示用教材③を見て、カーボンハーフについて理解する。	○ 地球温暖化を食い止めるためにはカーボンハーフの取組が不可欠であることを伝える。	◆ 掲示用教材③
○ 掲示用教材④⑤を見て、どのようにしてカーボンハーフの取組を広められるか話し合う。	○ 社会にカーボンハーフの取組を周知し、参加を促すためにどのようなことが必要か話し合わせる。	◆ 掲示用教材④⑤ ◆ ワークシート③ ■ 【環境学習動画】 みんなで進めよう！HTT 第1回H「へらす」編】【東京都環境局】 

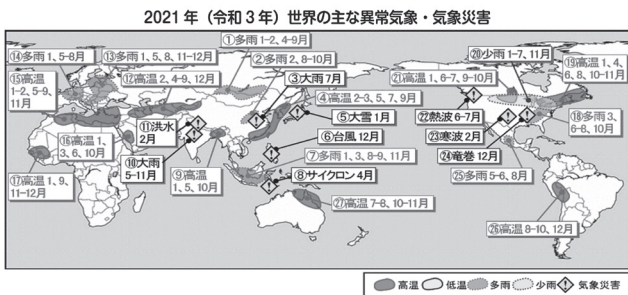
※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ^{じっせん} ～カーボンハーフ～
気象災害とカーボンハーフ

年 組 名前

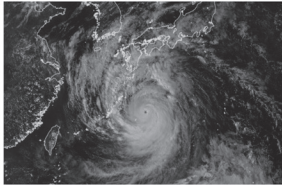
①「2021年(令和3年)の世界の主な異常気象・気象災害」を見て、気付いたことを話し合みましょう。



出典：気象庁ホームページ「世界の年中の異常気象」(<https://www.data.jma.go.jp/smd/cpod/monitor/annual/>)より抜粋

Blank rounded rectangular box for discussion.

②地球温暖化による日本の気候変化について調べましょう。



2022年 台風第14号 (衛星画像)
出典：気象庁ホームページ「台風第14号の今後の進路について」(<https://www.jma.go.jp/fmh/cross/220911raiketsu.pdf>)より抜粋



2022年 台風第14号被害の土砂崩れ (鹿児島県)

Blank rounded rectangular box for discussion.

③どうすれば、カーボンハーフの取り組みや脱炭素の取り組みについての意識を ^{だっ} 高めていくことができるか考えましょう。



Blank rounded rectangular box for discussion.